

授業科目名・形態	介護過程Ⅳ	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	山田 克宏		実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を行うための思考過程を学ぶ。介護過程とは、「生活の場」に違いがあっても、利用者の望むより良い生活の実現・継続ができるように支援する仕組みである。ここでは、介護過程の構成要素等について学ぶとともにチームアプローチの必要性・重要性について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 他の科目で学習した知識や技術を活かして、介護過程を展開する。
- 2) 個別性に基づく介護計画を立案して適切な介護サービスの提供ができる能力を養うことを目的とする。
- 3) 生活の場の違いにも理解を深めながら、それぞれの事例に根拠に基づく介護実践ができる力を身につける。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護過程の実践的展開
- 第2回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報収集とアセスメント①
- 第3回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報の統合化
- 第4回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援を行うための課題の分析・統合化
- 第5回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援を行うための介護目標の設定
- 第6回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案①
- 第7回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案②(課題の分析・統合化・目標設定)
- 第8回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護過程の発表・役割演技①
- 第9回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護過程の発表・役割演技②
- 第10回 「事例」に基づいた介護過程の展開の理解①
- 第11回 「事例」に基づいた介護過程の展開の理解②
- 第12回 介護計画作成のプロセス①(計画)
- 第13回 介護計画作成のプロセス②(実施・評価)
- 第14回 介護過程のプロセス③(ケアカンファレンス)
- 第15回 各グループの発表、質疑応答

【授業実施方法】

講義・個人ワーク・グループワーク

【授業準備】

事例への理解を深めながら、生活の場の違いや個別性に基づいた生活支援のあり方について学習を深める。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本

【教科書等】

介護過程（新・介護福祉士養成講座9 中央法規）

【参考文献】

一番ヶ瀬康子監修：介護福祉職にいま何が求められているか、ミネルヴァ書房、1997年。

【成績評価方法】

講義・演習への態度(20%)、レポート(80%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、通所介護において介護業務のなかで、クライアントに思いに基づき「その人らしい」生活支援を行ってきた。そのような臨床経験に立った講義展開を行う。

【学生へのメッセージ】

講義や事例での学びから「利用者の望む生活」を思考するなかで、介護サービスの提供のあり方を理解し、実習において体現出来るようになって欲しい。